同意ない開発認めない、

連絡協が活動方針確認

㈱石垣島白保ホテル&リゾーツによる白保集落北側でのリゾートホテル建設計画に関連し、同問題連絡協議会（新里昌央会長）は15日夜、白保公民館で住民集会を開催し、同計画の現状について情報交換を行うとともに、今後の活動方針を確認した。

説明会には住民50人が出席した＝15日夜、白保公民館

白保ホテル問題で住民集会

同協議会は白保ハーリー組合、魚湧く海保全協議会、日曜市組合、NPO法人夏花の4団体で構成。白保公民館からの依頼により、同計画の問題点について整理する活動を行うが「公民館の議決機関ではない。（未だ賛否を決議していない）公民館とは異なる意思表示をすることもある」（新里会長）としている。

集会には約50人が参加。新里会長は「何が問題となっているのか、まずは現状を認識してほしい」とあいさつした。

渉外担当の柳田裕行さんは、同計画に関する行政手続きの進ちょく状況や、計画上の問題点を解説。下水道が整備されていない場所で排水を地下浸透させることや、協議会側の質問に対し誠意ある回答をしない事業者の態度には、大いに問題があるとした。

今後の活動方針としては①白保住民の同意のない開発は認めない②環境に悪影響を及ぼす可能性のある開発は認めない、の2点を柱とすることを確認。広く一般を対象とした署名活動に取り組むことや、事業者側に公開質問状を送付したことが報告された。

白保公民館は24日、同問題に対する対応方針を決議する臨時総会を開催する。

八重山日報新聞
平成29年11月16日